

平成29・30年度 会長・副会長・監事の承認（敬称略）

去る6月1日（木）・2日（金）、江戸東京博物館会議室において、平成29年度の理事会・総会が開催されました。本年度は会則第5条に基づく役員改選期にあたり、下記の方々が理事会で選出され、総会で承認されました。

<役 職>	<地 区>	<役員名>	<所属都道府県>	<備考>
会 長	東京都	戸 張 敦 雄	東京都	再 任
副会長	北海道地区	永 峰 貴	北海道	再 任
同	東北地区	千 葉 昭	秋田県	
同	関東甲信越地区	木 内 芳 則	長野県	
同	東海北陸地区	西 輝 昭	福井県	再 任
同	近畿地区	片 山 智 成	滋賀県	
同	中国地区	鷲 尾 実	広島県	
同	四国地区	溝 渕 正 臣	香川県	
同	九州地区	大 森 勲	熊本県	
監 事	東北地区	佐 藤 俊市郎	福島県	
同	関東甲信越地区	樋 浦 晃 治	新潟県	
同	東海北陸地区	大 塚 哲 雄	静岡県	

\* 役員の任期 <会則第7条から> 役員の任期は2か年とする。ただし再任することができる。

\* 会長は常任理事会・副会長会より、副会長・監事は関連する地区連絡協議会より推薦されている。

本年度総会において、次のように「総会宣言」が採択されました。

本年度総会において、次のように「総会宣言」が採択されました

## 平成29年度 総 会 宣 言

少子高齢化、グローバル化の進展する不透明な時代を、たくましく、しなやかに生きていく人材の育成には、教育尊重の気運を高め、「社会総がかり」で教育を行うことが大切である。また、今日の社会保障制度改革の動向を見据えて、会員の福祉の増進に努める必要がある。

この時に当たり、全国連合退職校長会は「現状の満足は、その基盤の瓦解につながる」との思いを強くして知恵と工夫を念頭に、各都道府県退職校長会の連合体としての活動を進めていく。

総会において、ここに下記事項の実現に尽力することを宣言する。

### 記

- 一 各都道府県退職校長会との連携を密にし 健全な教育世論を喚起し 教育の振興に寄与する
- 一 質の高い教育を実現するため 教育条件の整備・充実を期し 政府・関係機関への要望や意見具申を強化する
- 一 将来展望の持てる年金制度をはじめ 高齢者の負担が過重にならないよう配慮した持続可能な社会保障制度の確立に寄与する
- 一 会員の福祉の増進に努めるとともに 相互の研修・親睦を深め 組織の拡充・活性化を着実に進める
- 一 学校支援事業や社会貢献活動など 生きがいのある生涯学習を実践し 家庭や地域の教育・文化の振興に寄与する
- 一 国民挙って教育の在り方を考える日として 国民の祝日「教育の日」の制定と活動内容の充実を図るため 関係機関や団体とともにその推進に務める
- 一 東日本大震災・原発事故並びに熊本地震等で被災された地域の復興と教育環境の正常化のために 会員の相互扶助と連帯の精神に基づいて支援に努める

平成29年6月2日

第53回 全国連合退職校長会 総会